

# ・新技術開発

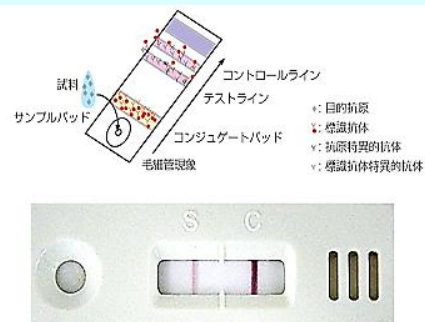
## 迅速簡便検査キットの開発

人への危害性が報告されている微生物をイムノクロマトグラフィー法、核酸クロマトグラフィー法、PCR法、LAMP法を原理とした実地的検査法で検出する。

標的微生物: 出血性大腸菌EHEC、サルモネラ属菌、重症熱性血小板減少性ウイルス(SFTSV)、E型肝炎ウイルス、住肉胞子虫*Sarcocystis*、オーエスキー病ウイルス等

### ① 安全度迅速判定キット(イムノクロマトグラフィー法)

目的: **食肉解体時における二次感染、従事者の感染防止**



#### 病原体の検出

標的: 危害性微生物抗原タンパク質

↓  
抗原タンパク質に対する捕獲動物の血中特異抗体(IgG)の検出により感染歴を判断する。

陰性 → 安全群

陽性 → 注意群

- ・感染注意
- ・二次汚染注意

解体優先度や廃棄の決定

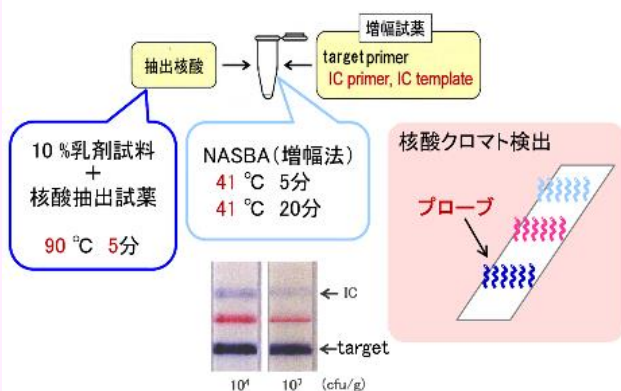
**捕獲・解体従事者は感染に注意**

#### 利点

- ・検査試料として**血液**を用いる為、**解体前**に検査ができる。
- ・温度管理が必要ないため、**捕獲現場**で行える。
- ・結果を**目視**で判断できる。
- ・小さく、**軽量**である。
- ・**捕獲従事者、解体従事者を感染から防ぎ、健康を守る事ができる**

### ② 病原体診断キット(核酸クロマトグラフィー法、PCR法、LAMP法)

目的: **野生動物の背景疾患の把握、地域性危害性微生物相の調査**



#### 病原体の種同定

- ・各種リボソームRNA (16S、18S)
- ・ITS領域
- ・ウイルスRNA

#### 病原体の危害性同定

- ・各種毒性因子

EHEC : *vtx1-2f*, *eae*, *saa*, *iha*, *espA*-

Salmonella : *ivnA*, *stn*

*Sarcocystis* : 15kDa タンパク質

#### 利点

- ・遺伝子増幅による**高感度**の検出であるため、野生動物での病原性微生物の**精細な疫学調査**が可能である。
- ・**一温度**固定での検査のため、最小限のスペースで行える
- ・遺伝子増幅を**目視**で確認できる。
- ・種々の因子をマルチプレックスに検出できる。
- ・**事前に病原性のある微生物の分布を把握**することで捕獲従事者への**注意喚起**が出来、**危険な病原体への感染を未然に防ぐことができる**。